

《記入例》

様式第1号（第4条第1項関係）
令和5年度 就学援助費認定申請書

（新規・継続）

（兼世帯票・承諾書・委任状・口座振込依頼）

記入年月日 年 月 日

大田市教育委員会教育長 様 下記のとおり就学援助を申請します。なお、記入事項に虚偽の記載が明らかになった場合、認定が取り消されることについて異議はありません。 また、認定を受けたうえは、在籍校の校長を代理人と定め、私に直接支給されるものを除き、就学援助費に係る権限を委任します。 なお、認定審査の際、私及び生計を同一にする者の住民登録・課税情報等を大田市教育委員会教育長が閲覧または交付請求し、確認することに承諾します。						
保護（委任）者氏名			現住所			
大田 太郎			田 令和5年1月1日時点の住所が大田市の人→大田市に○ 大田市以外の人→大田市外に○			
電話番号						
生計を同一にする方全員（児童生徒を含む）を記入してください。ただし、単身赴任等により住民登録が別住所になっている方や、同一住所で世帯分している場合でも同一の家屋にお住まいの方は生計同一とみなします。						
世帯の状況	氏名	続柄	生年月日	勤務先、職業等又は学年	同居の有無	令和5年1月1日現在の所在地
	大田 太郎	保護者	S〇.〇.〇	〇〇会社	有	大田市・大田市外
	大田 花子	妻	S〇.〇.〇	〇〇会社 パート	有	大田市・大田市外
	大田 一郎	子	H〇.〇.〇	〇〇中学校 〇年	有	大田市・大田市外
	大田 らと	子	H〇.〇.〇	〇〇小学校 〇年	有	大田市・大田市外
	大田 銀子	母	S〇.〇.〇	無職	有	大田市・大田市外
						大田市・大田市外
同じ家にお住まいの方は全員記入してください。 就学援助の「世帯」とは同じ家にお住まいの方すべてをいいます。生計や住民票の世帯を別にしていても、同じ家に住んでいる方は生計同一とみなします。						
3、左記以外で、経済的理由によって就学させることが困難であるなど 具体的状況を以下に必ず記入してください。						
夫婦で就労していたが、母の介護のため妻がパート勤務となり、収入が不安定になる。生活費で精一杯で学校の支払いに苦労しているため。など						
-b、市県民税の非課税又は減免 申請理由が「3」の場合、 具体的状況を必ず記入してください。 -g、更正資金（生活福祉資金）の貸付						
口座振込依頼欄	金融機関名		店舗名	種目	口座番号	
	〇 〇 〇 〇		× × ×	1 普通預金	△ △ △ △ △ △ △	
	金融機関コード		店舗コード	口座名義人		
△ △ △ △			オオダ タロウ			
校長の意見		上記認定申請に係る理由が3			大田 太郎	
合銀：0167 ゆうちょ：9900 信金：1712 JA：7708						

※太線の枠内のみ記入してください。

《記入例》

(裏面)

民生児童委員の所見 (認定申請に係る理由が3の場合で、教育委員会が必要とする場合のみ)

援助を必要とする家庭状況

年 月 日

民生児童委員

印

【添付書類 (コピー可)】: いずれかに○をつける。

・認定申請に係る理由 d、g に○を付けた世帯

d、国民年金保険料免除理由該当通知書又は申請承認通知書

g、更正資金貸付決定通知書

・1月1日現在の住所地「大田市外」に○を付けた世帯

・源泉徴収票

・確定申告書 (控)

・市県民税申告書 (控)

・課税証明書

※ 小学校の申請書に添付

(同一世帯できょうだいが小学校と中学校に同時に就学している場合)

※ 同一世帯の申請書に添付

(同一世帯できょうだいが違う小学校又は中学校に就学している場合)

添
付
書
類
貼
付